

# メーデー宣言

私たちは本日、第86回全道メーデー大会を迎えた。

経済政策「アベノミクス」は、一部の層に富を集中させ、地域・企業・正規非正規間格差を一層助長させている。強者の利益が増せば、弱者にまで流れ落ちるとする「トリクルダウン」理論では、適正な所得配分は決して望めない。さらに、安倍政権は高度プロフェッショナル制度と名付けた「残業代ゼロ制度」の導入など「岩盤規制」とのレッテルを貼って、労働法制の改悪をねらう一方で、社会保障についても抑制を打ち出すなど、労働者や市民の生活を圧迫している。

政治も劣化してきている。民意に反し、憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定やそれに基づく関連法の「改正」の動きなど、憲法を空洞化させ、立憲主義を蔑ろにする動きが際立ってきている。東日本大震災から4年が経過したが、未だに避難生活を余儀なくされている方が23万人にもものぼり、関連死も後を絶たない。民主主義は危機に瀕し、人間らしく暮らす権利はおろか、いのちさえも脅かされてきている。

今次メーデーは、戦後70年という節目の中で開催される。改めて戦後社会を見つめ直すとともに、8時間労働を求めて立ち上がったメーデーの原点に立ち返り、労働者の尊厳や市民の視点に立った平和で安心安全な社会を今こそ実現しなければならない。

私たちは、震災を風化させず、被災地の方々に寄りそって、一日も早い復興・再生をなしとげ、希望ある社会を創り上げる。そのためにも、持続可能な社会保障制度の確立をめざすとともに、労働者派遣法など労働者保護ルールの改悪を許さず、適正な成果配分を実現し、傷んだ雇用の復元を図っていく。また、世界の恒久平和を希求して、立憲主義と憲法の三大原則を貫徹し、核兵器廃絶や人権侵害救済など、対話による平和的解決や貢献に邁進する。

メーデーは国際連帯の日である。

「国際労働組合総連合」(ITUC)と連携し、グローバル化による貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害、紛争やテロなどをなくすため、また、「ディーセントワーク」の実現のために、たたかいを強める。

そして、すべての働く者の連帯とNPO・NGOとの連携で、あらゆる格差を撲滅し、平和で「働くことを軸とする安心社会」を実現することを、ここに宣言する。

2015年5月1日  
第86回 全道メーデー大会